radio Camnetに続くマガジン版

雲心月性

大槻ワールドへ
ようこそ

Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？

さて、大槻は川崎医科大学の中にある学内の学会である川崎医学会の運営委員長を務めています。教員や教授の先生にエリアに入るところには、メールボックスがあって、そこにデジタルサイネージが設えてあります。

いろんな情報を掲示するのですが、医学会として発刊している機関誌への投稿を促すスライドを月の前半 2 枚、後半 2 枚で流しています。友人の Ms. Keiko C の描いたイラストを使わせてもらったり、自分で撮った写真を使ったりしています。

では、2018 年の 11 月と 12 月のスライドを紹介します。

秋はお祭り！屋台も出て、神輿も出て！焼きトウモロコシが好きだなぁ！

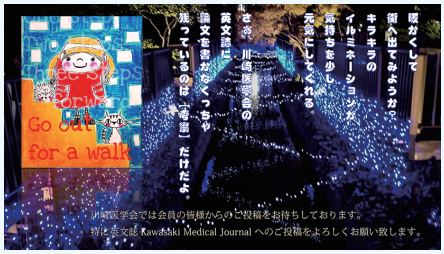
秋は哀愁「Love Is Over」～きっとそれは、新しい第一歩、次の LOVE に向けて。

そして紅葉は日に日に深さを増して、柔らかい陽射しの中で輝いています。

もう晩秋、分厚いコートを取り出して、それでも木枯らしの街をワンちゃんと歩きましょう。

師走に入ると、どことなく気分も忙しないのだけれど、でも、寒さに負けずにウォーキング。

2018 年の夏の被災からの復興を紙灯籠で祈りましょう。それは 2019 年も。



さて 12 月も後半はイルミネーションも鮮やかに～街ごとで楽しめます。

そして今年の X' mas には、何を贈りましょうか？　気持ちを込めて。

さて、オリジナル曲の秋の歌。iTunes ではリリースしていませんが……。

『燃える秋』

舗道に伸びた 私の影に
あなたが 少し近付く
小さな肩に 優しさだけの
あなたの 腕がかかるの
街路樹は 葉を落として
震えてる 街は寒い
夕闇が 外套の上
重すぎる季節ね
たとえそばに あなたがいても
心は 北風の中
同じ 愛を 演じる気なら
もっと 烈しく 抱きしめて

口紅の朱で 隠し切れない
私の 冷えた想いを
口先だけで 慰めないで
私は 焔が好きよ
行きすぎる 前照灯（ヘッドライト）
一瞬の 夢を乗せて
出来るなら 旅立ちたい
南への 航空機
凍る空を 燃え上がらせる
強さで 接吻をして
それで 愛を 求める気なら
もっと 烈しく 抱きしめて

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-

皆様にとってステキな年末になりますように。そして 2020 年はオリパラ、ステキな新年を。

♪オリジナルCD
プレゼントします！
詳しくは
プレゼントコーナーで

プロフィール

大槻　剛巳
（おおつき たけみ）

川崎医科大学衛生学教授
0歳：京都府福知山市にて生誕
14歳：京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
14歳：KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
15歳：倉敷市に転居
15＆18歳：NHKあなたのメロディー出演
18歳：YAMAHAポプコン全国大会（譜面の部）出場
20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
24歳：川崎医科大学卒業
以降：川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事
1992-1996年：米国留学（医学研究）
1996年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
2009年：Camnet CH-F（10-19）パーソナリティ担当
現在に至る